

# 事業報告書

第 13 期 (2014 年度)

自 2014 年 4 月 1 日

至 2015 年 3 月 31 日

京都市中京区六角通新町西入西六角町 101 番地

特定非営利活動法人 リボン・京都

## 第 13 期 (2014 年度) 事業報告

特定非営利活動法人 リボン・京都

### I. 事業成果の概要

ルワンダ共和国キガリ市のガチュリロ職業訓練センターで「高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プログラム」を、外務省のご支援により 2013 年のフェーズ 1 に引き続き 2014 年 7 月からフェーズ 2 を開始いたしました。

フェーズ 2 では、募集 50 名に対し 600 名の応募がありました。これはフェーズ 1 の事業の評判が良く、応募数が増えたのだと思われます。現地に派遣している当会職員二人の熱意と努力、そして日本から着物をほどこき教材を準備するボランティアの御蔭で、現地の訓練も順調に進んでいます。フェーズ 2 期間では渡航予定はありませんでしたが、事業の状況を直接確認する必要性を感じ、4 月 19 日から一週間洋裁指導責任者の中島と私が現地へ赴き、縫製指導方法の改善と指導システムの充実を測るようアドバイスを致しました。フェーズ 2 の終盤に近づき、間もなく始まる最終年度のフェーズ 3 に向けたこの大切な時期に現地を視察し、現場と話し合うことが出来ました。また、訓練修了生同士が協力して製品作りを行う場所や販売店舗も確保できるよう、ルワンダ政府が修了生たちによる組合形成を奨励し、組合形成に関わる助言や資金援助も始めることを知り、さまざまな面から修了生たちの収入、雇用創出努力が進んでいることを感じ、喜んでいます。

5 月 20 日から 26 日まで、ジェイアール京都伊勢丹では初めてとなるチャリティ展示即売会を催します。期間中は、ルワンダ訓練修了生が製作した作品やラオス訓練修了生とのフェアトレード作品等を出品予定です。当日の盛況を願っています。

理事長 小玉 昌代

## II. 事業の実施に関する事項

### 1. 特定非営利活動に係る事業

#### (1) 指導事業

##### ① 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プログラム（フェーズ1）

実施期間	2013年7月1日～2014年6月30日		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュロ職業訓練センター		
対象者	首都キガリの若年ユース貧困層 52名（16～35歳）		
従事者人数	事業従事者8名（国内3名、海外2名、現地スタッフ3名） 国内作業従事者22名 <現地派遣状況> 2013年7月～2014年6月 現地事業責任者、事業担当（洋裁専門家）各1名 2013年8月1日～2013年8月15日 ミシン保守専門家 1名 2014年1月25日～2月3日 理事長、洋裁指導責任者 各1名		
助成金額	26,436,303円	助成元	外務省 NGO 連携無償資金協力
支出額	26,178,838円（返還額：257,465円）		
事業内容	ルワンダの首都キガリで、若年貧困層（主に脆弱な女性層）を対象に、高度な日本の洋裁技術訓練を行い、雇用、収入の創出を目指す。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 工業用電動ミシンの投入</li> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練</li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT（Training of Trainer 専門家育成）</li> <li>▪ ミシン保守専門家によるミシンメンテナンス講習</li> <li>▪ 洋裁指導責任者による公開授業および技術強化特別授業</li> <li>▪ ビジネス強化講習</li> <li>▪ メイド・イン・ルワンダ 製品の開発実習</li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作</li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価</li> <li>▪ 修了式および製作披露発表</li> </ul>		
成果	<p>6月20日（金）、修了式兼ミニファッションショーを開催。ンセンギユンバ技術・職業教育訓練担当大臣、小川大使夫妻、キガリ副市長らにご出席いただき、修了証を授与。また、訓練生制作作品を訓練生自身がモデルとなりファッションショー形式で披露した。最終訓練修了生は48名。</p> <p>訓練終了後修了生は、ルワンダ職業開発庁や職業訓練センターの協力により、ルワンダの大手縫製工場などで2ヶ月間の産業研修に参加した。産業研修終了後は、大手縫製工場への就職を果たしたり、自宅での仕立て業務を開始している。</p> <p>修了生の中でも特に優秀なメンバー8名はフェーズ2リボン・京都洋裁アシスタントとして雇用。着実に経済的自立の道を歩んでいる。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 工業用電動ミシンの投入（13台）</li> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平日4日 午前・午後に分かれ各クラス毎日4時間。1ヶ月平均64時間（1日4時間×週4日×4週間）の実習。</li> <li>✓ 着物地8アイテム実習完了</li> </ul> </li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT（Training of Trainer 専門家育成）             <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 週4日は日本人洋裁専門家の補佐として訓練に参加することで技術強</li> </ul> </li> </ul>		



ミニファッションショーにて(訓練生)

	<p>化を図り、週 1 日は日本人洋裁専門家により集中的に洋裁論理面および技術面の強化を実施。合計、1 ヶ月平均 160 時間（1 日 8 時間×週 5 日×4 週間）の育成訓練。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ ミシン保守専門家によるミシンメンテナンス講習</li> <li>▪ 洋裁指導責任者による公開授業および技術強化特別授業</li> <li>▪ ビジネス強化講習の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 職業開発庁および職業訓練センターの協力のもと、「市場調査・マーケティング」、「起業」、「組合形成」、「プロダクション・ユニット形成」のビジネススキル強化講習の実施</li> </ul> </li> <li>▪ メイド・イン・ルワンダ 製品の開発実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ ルワンダの伝統的な生地ギテンゲを使用し、3 アイテムを開発・製作。</li> </ul> </li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本語・英語・キニアルワンダ語併記の洋裁テキストブックを製作し、修了式に全修了生に手渡した。</li> </ul> </li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カウンターパートである職業開発庁およびパートナーのキガリ市を訪問し、進捗状況や今後のアプローチについての確認を実施。</li> </ul> </li> <li>▪ 修了式および製作披露発表の開催（2014 年 6 月 20 日）</li> </ul>
--	---

## ② 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プログラム（フェーズ 2）

実施期間	2014 年 7 月 1 日～2015 年 6 月 30 日		
実施場所	ルワンダ共和国キガリ市 ガチュリロ職業訓練センター		
対象者	首都キガリの若年ユース貧困層 52 名（16～35 歳）		
従事者人数	事業従事者 15 名（国内 3 名、海外 2 名、現地スタッフ 10 名） 国内作業従事者 22 名 <現地派遣状況> 現地事業責任者、事業担当（洋裁技術） 各 1 名 2014 年 7 月～2015 年 6 月		
助成金額	26,366,418 円	助成元	外務省 NGO 連携無償資金協力
支出額	20,313,233 円（3 月 31 日までの実績）		
事業内容	フェーズ 1 に引き続き、ルワンダの首都キガリで若年貧困層（主に女性層）を対象に高度な日本の洋裁技術訓練を行い、雇用、収入の創出を目指す。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練</li> <li>▪ 現地洋裁専門家への TOT（Training of Trainer 専門家育成）</li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価</li> <li>▪ 1 年目修了生のフォローアップ</li> <li>▪ ビジネス強化講習</li> <li>▪ メイド・イン・ルワンダ 製品の開発実習</li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作</li> <li>▪ ミシンメンテナンス講習および ICT・マーケティング講習</li> <li>▪ 修了式および製作披露発表会</li> </ul>		
成果	<p>フェーズ 2 では 600 名の応募があり、52 名を選抜試験で選んだ。その後家庭の事情により数名が訓練を自ら辞したが、現在 50 名の訓練生で順調に進んでいる。現在、12 アイテム中 9 アイテムが完了。</p>		



熱心に縫製実習をする訓練生

	<p>&lt;実施内容(3月31日までの実績)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 平日4日 午前・午後に分かれ各クラス毎日4時間。1ヶ月平均64時間(1日4時間×週4日×4週間)の実習。</li> </ul> </li> <li>▪ 現地洋裁専門家へのTOT(Training of Trainer 専門家育成) <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 週4日は日本人洋裁専門家の補佐として訓練に参加することで技術強化を図り、週1日は日本人洋裁専門家により集中的に洋裁論理面および技術面の強化を実施。合計、1ヶ月平均160時間(1日8時間×週5日×4週間)の育成訓練。</li> </ul> </li> <li>▪ 適切なモニタリング・評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ カウンターパートであるガチュリロ職業訓練センター校長との定期的なミーティングを実施。特に実施スピードと作品品質において高い評価を受けている。</li> </ul> </li> <li>▪ 1年目修了生のフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 2014年11月全修了生を対象にフォローアップミーティングを実施。現時点での収入、就職状況、問題等についてヒアリングし、アドバイスをを行った。</li> </ul> </li> <li>▪ 三カ国語併記洋裁テキストブックの製作 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 日本語・英語・キニアルワダ語併記の洋裁テキストブック(フェーズ1からの改訂版)を製作し、訓練生全員に配布した。</li> </ul> </li> </ul>
--	---

### ③ 京都における被災者支援事業

実施期間	2013年4月～2015年3月		
実施場所	リボン・京都 日本事務局		
対象者	東日本大震災の影響で京都に避難している被災者3名		
従事者人数	事業従事者3名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	98,376円		
事業内容	東日本大震災の影響で京都に避難している方々の洋裁技術習得による経済的自立への寄与。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練</li> </ul>		
成果	<p>東日本大震災の影響で京都に避難している被災者の方を対象とした洋裁ワークショップは、9月に新規参加者募集により1名追加して現在3名で進んでいる。3月で事業を開始してから2年を迎え、訓練生の成長も見られるため、今後はフェアトレード形式での支援を考えている。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 訓練生に対する高度な洋裁技術訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：10アイテム、小物：8アイテム</li> </ul> </li> </ul>		

### ④ フェアトレード事業

#### a. ラオス・サバナケート県立職業訓練校とのフェアトレード事業

実施期間	年2回(6-8月、1-3月)		
実施場所	ラオス国サバナケート県 県立職業訓練校洋裁科		
対象者	同校洋裁科の生徒6名、教員5名		
従事者人数	事業従事者3名 国内作業従事者22名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	449,470円 (うち仕立て代：104,191円)		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者および現地教員が、習得した技術を維持・向上さ		


	せ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼らの収入向上を図る。
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>
成果	<p>2007年 外務省日本 NGO 連携無償資金協力を受け、サバナケート県立職業技術訓練校に洋裁科を設立。3年に渡り同校で洋裁技術指導事業を実施し 2010年1月に事業を終了した。その後、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために、同校とフェアトレード形式の指導を継続しており、本年度も実施。</p> <p>6-8月、1-3月の2回、パターンや指示書、着物地等の必要材料を当会で準備・送付し、製作依頼。その後、返送されてきた完成作品に対して洋裁指導責任者の評価を行い、評価結果をフィードバックすると同時に評価に応じて仕立て金を支払った。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：10アイテム、小物：7アイテム</li> </ul> </li> </ul>

b. ヨルダン・南シューナ郡とのフェアトレード事業


実施期間	年1回(6-8月)		
実施場所	バルカ県南シューナ郡		
対象者	アル・ジョーフア村、アル・ジャワスレ村の寡婦や未婚女性及び貧困層の女性とその家族、アル・ジャワスレ村の連携 NGO 8名(16~55歳)		
従事者人数	事業従事者3名 国内作業従事者22名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	21,685円(うちお仕立て代:0円)		
事業内容	当会の洋裁技術訓練修了者が、習得した技術を維持・向上させ、安定した収入を得られるよう、当会より材料を送り、洋服や小物の仕立てを注文し、完成品には適正対価を払い、彼らの収入向上を図る。		
指導内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導</li> </ul>		
成果	<p>2010年外務省日本 NGO 連携無償資金協力を受け、三年に渡り洋裁技術指導事業を実施し、2013年3月に事業を終了した。その後、訓練生らが習得した洋裁技術の維持向上のために、フェアトレード形式の指導を継続した。</p> <p>6月に第1回フェアトレードを依頼したが、訓練修了生数の減少などの状況から、製作完了していない。第2回目は中止。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▪ フェアトレード形式による洋裁技術フォローアップ指導(製作未完了) <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 洋服：2アイテム、小物：2アイテム</li> </ul> </li> </ul>		

⑤ 環境保全活動事業

実施期間	通年		
実施場所	リボン・京都 日本事務局		
対象者	日本全国の着物保有者		
従事者人数	国内作業従事者 22名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	-		
事業内容	不要になった古着物の寄贈を募ることで、廃棄の際に輩出される CO2 軽減に貢献し、環境に配慮する。寄贈された着物は、種類別に仕分け保管し、必要に応じて選び出し、海外事業地での洋裁指導教材として活用。		

成果	<p>会誌、新聞、イベントを通じて古着物の寄贈を呼びかけ、全国から多くの着物が届いた。特に、6、9月に朝日新聞（全国版）に当会活動が掲載された反響で、前年度を上回る寄贈数となった。</p> <p>今回、お問合せやご寄贈をいただいた方々に御礼状と当会パンフレットや会誌を送付し、寄付や会員入会のご案内を行ったところ、会員数は前年度比59%増となった。</p> <p>&lt;2014年度 着物寄贈状況&gt;</p>	 <p>着物整理するボランティアメンバー</p>																											
	<table border="1"> <tr> <td>○着物</td> <td>1,994点</td> <td>○喪服</td> <td>248点</td> </tr> <tr> <td>○夏着物(浴衣含む)</td> <td>439点</td> <td>○喪服帯</td> <td>85点</td> </tr> <tr> <td>○羽織</td> <td>1,072点</td> <td>○男物</td> <td>184点</td> </tr> <tr> <td>○帯</td> <td>1,093点</td> <td>○子供</td> <td>54点</td> </tr> <tr> <td>○襦袢</td> <td>433点</td> <td>○その他(反物含む)</td> <td>1,306点</td> </tr> <tr> <td>○コート</td> <td>514点</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>合計</td> <td>7,422点</td> </tr> </table> <p>寄付者述べ人数：516名</p>	○着物	1,994点	○喪服	248点	○夏着物(浴衣含む)	439点	○喪服帯	85点	○羽織	1,072点	○男物	184点	○帯	1,093点	○子供	54点	○襦袢	433点	○その他(反物含む)	1,306点	○コート	514点					合計	7,422点
○着物	1,994点	○喪服	248点																										
○夏着物(浴衣含む)	439点	○喪服帯	85点																										
○羽織	1,072点	○男物	184点																										
○帯	1,093点	○子供	54点																										
○襦袢	433点	○その他(反物含む)	1,306点																										
○コート	514点																												
		合計	7,422点																										

## (2) バザー事業

実施期間	通年 ※下記参照		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	国内作業従事者 22名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	2,737,886円		
事業内容	海外現地の洋裁訓練生や訓練修了生が製作した洋服や小物等をチャリティ展示即売会、バザー出店、ネット販売などの形式で販売し、市場で技術習得の成果を問う。収益は、訓練生の奨励金など活動資金に充当する。		
成果	<p>全般的に、前年度を上回る売上をあげた。</p> <p>リボン・京都販売店三田村は、店主の体調不良により、1～2月は一時休業し、新しい体制の準備を行った上で、3月より販売を開始した。</p> <p>今年は、高島屋京都店チャリティ展示即売会（年1回）とボストンチャリティセールを実施の他、その他、計画外のルワンダ展示会やパシイワ愛知定例会等でのバザー販売機会が増え、少額ながらも売上に貢献していることに加え、新たな支援者が増えている傾向にある。</p>	 <p>ボストンのボランティアメンバー</p>	

<実施内訳>			
	販売場所	期 間	売 上
展示 即売会 チャリティ	リボーン・京都販売店 三田村 (祇園祭・クリスマスチャリティー含む)	通年	1,210,030 円
	ルワンダ展示会	6 月	160,000 円
	東京イベント会場 ※ルワンダ大使館協力	9-10 月	27,770 円
	高島屋京都店	9 月	959,300 円
	ボストン	11 月	942,436 円 (US\$8213.62)
委託	瓢樹	通年	63,400 円
ネット	オンラインショップ	通年	22,070 円
バザ ー	奈良木立バザー	1 月	90,800 円
	パシイワ愛知	9 月	147,000 円
		2 月	34,720 円
そ の 他	天香堂	通年	20,000 円
	小堀 (株)	通年	67,600 円
	事務局などでの売上	通年	512,815 円
売上総額			4,257,941 円

### (3) 人材育成事業

実施期間	2014 年 10 月		
実施場所	リボーン・京都 日本事務局		
対象者	1 名		
従事者人数	事業従事者 3 名 (国内)		
助成金額	-	助成元	-
支出額	- ※広報支援事業より支出		
事業内容	国際協力分野における若手人材育成および NGO による国際協力拡充を目指しインターンを育成する。		
成果	10 月 21 日よりインターン 1 名を雇用。現在、主に販売業務から戦略部分の業務を行っている。		

### (4) 啓発及び広報事業

#### ① 啓発事業

実施期間	通年		
実施場所	※下記参照		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業従事者 5 名 国内作業従事者 22 名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	-		
事業内容	チャリティを目的とした一般の方対象のマラソン大会の運営を NICCO 他 NGO 団体と共に行う他、当会事業活動により理解を深めてもらえるよう講演や展示会への出展を行う。		



<p><b>成果</b></p>	<p>例年通りの京都チャリティ・ファンランに加え、大学生や一般の方との対面による交流会や講演の機会を多くいただくこととなり、新たな支援者拡大につながっている。</p> <p>a. <u>6月1日(日) 京都チャリティ・ファンラン</u> 参加者：1,329名 「第28回京都チャリティ・ファンラン」に参加。実行委員長 久保氏より500,000円の寄付金をいただいた。</p> <p>b. <u>6月11日(水) NPO体感！ドキドキ交流サロン</u> (京都市市民活動総合センター主催) 参加者：8名 一般の方々に対して、リボン・京都の設立背景や現在の活動について話をした。開催後のアンケートからも非常に好評であり、今後も当会からの情報提供を希望する方も多かった。</p> <p>c. <u>6月18日(土)～22日(日) ルワンダ展示会への出展</u> 公開プレゼン参加者：約20名 ルワンダ展示会に出展。ルワンダの活動パネルや、訓練生が製作した作品を展示。公開プレゼンテーションにてリボン・京都の活動やルワンダでの洋裁事業の説明を行った。</p> <p>d. <u>7月2日(水) 兵庫県立大学&amp;京都産業大学の学生訪問</u> 参加者数：約30名 兵庫県立大学と京都産業大学の学生が当会を訪問し、リボン・京都の設立背景や現在の活動について話に加え、着物地から作るうちのワークショップも行った。</p> <p>e. <u>7月11日(金) 立命館大学での講義とワークショップ</u> ルワンダ駐在スタッフによる当会活動およびルワンダ事業に関する講義とワークショップを実施。</p> <p>f. <u>7月14日(火) ルワンダ事業報告会</u> 参加者：4名 現地派遣スタッフも交えたルワンダ事業報告会兼交流会を当会日本事務局で開催。アンケートの結果から、参加者からは内容・時間ともに「満足」いただいたと回答いただいた。</p> <p>g. <u>7月13日(水) 国際女性教育振興会茨城県支部での講演</u> ルワンダ駐在スタッフによる講演を行った。後日、地元新聞にも記事掲載。</p> <p>h. <u>9月28日(日) パシイワ愛知定例会での講演</u> 参加者数：約30名 パシイワ愛知の定例会にて、理事長小玉による講演会を実施。途上国の女性の自立支援に30年以上携わってきた経験やそこから学んだこと、そして今(今後)の思いについて話をした。</p> <p>i. <u>11月13日(木) 米国ボストン市 シモンズカレッジでの講演</u>  パシイワ愛知定例会での講演の様子 理事長による講演を実施。主に、ルワンダでの洋裁訓練事業に関して話をし、特に女性の自立に関心のある参加者達は、非常に興味深く話を聞いてくださった。</p> <p>j. <u>12月10日(水) 滋賀県草津市立玉川中学校での講演</u> 中学1年生生徒：157名 理事長による講演を実施。途上国の風習や文化も交えて当会の活動を話した。</p>
------------------	--

② 広報支援事業（「Panasonic NPO サポート ファンド for アフリカ 2014」）

実施期間	2014年1月1日～2014年12月31日		
実施場所	リボン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者3名		
助成金額	1,000,600円	助成元	パナソニック株式会社
支出額	1,055,601円		
事業内容	既存広報ツールをより訴求力のあるものへと改定することで、支援者の当会活動に対する理解を大きく促進させ、より安定的な経営基盤確保を目指す。		
成果	広報ツール充実による情報発信力強化と組織経済基盤の強化を目的として、ホームページやパンフレット、チラシ媒体の改訂を中心に実施した。		

③ 広報支援事業（「Panasonic NPO サポート ファンド for アフリカ 2015」）

実施期間	2015年1月1日～2015年12月31日		
実施場所	リボン・京都 日本事務局他		
対象者	当会支援者および一般市民		
従事者人数	事業担当者3名		
助成金額	855,940円	助成元	パナソニック株式会社
支出額	229,245円（3月31日までの実績）		
事業内容	既存広報ツール基盤を活用・発展させ、より多くの人の当会活動への理解を大きく促進すると同時に、安定的な経営基盤確保につなげる。特に、対面での支援者を巻き込んだ形での広報強化を実施。合わせて、実施および今後維持していくための組織内の広報人材育成も進める。		
成果	広報インターンを1名追加し、対面による広報発信として、百貨店での展示販売会開催アプローチを進めると同時に、オンラインショップサイトの充実計画を立て進めている。		

2. その他の事業

実施期間	通年		
実施場所	バザー事業と同場所、リボン・京都 日本事務局		
対象者	当会支援者および一般消費者		
従事者人数	20名		
助成金額	-	助成元	-
支出額	261,166円		
事業内容	日本国内のうちわやネクタイ、ルワンダ珈琲や紅茶など国外の産物を購入販売や仕立てを行い、活動資金に充てる。		
成果	仕入事業はほぼ例年通り。お仕立て事業は前年の倍額の売上となった。		
	科目	期間	売上金額
	商品売上(スカーフ、ネクタイ等)	通年	364,496円
	お仕立て売上	通年	231,065円
	売上総額		595,561円

### III. 会務報告

#### 1. 会員状況 (2015年3月31日現在)

	期首	増	減	期末
正会員	36名	17人	1名	52名
賛助会員	41名	28名	0名	69名
ボランティア会員	1名	2名	0名	3名

正会員・ボランティア会員活動状況：

活動日： 毎週火曜日、金曜日 (年間通算 140日)

活動場所： 日本事務局

活動内容： 寄贈着物の仕分け・保管。海外洋裁指導に向けた資機材準備、着物の選び出し、着物のほどこ、洗い、干し、アイロンがけ。サンプル教材製作、付属教材準備。海外現地完成作品の品質チェック、手直し、ボタン、タグ付け。チャリティーバザー出品用手芸品製作、チャリティーバザー展示準備、接客、販売、その他事務局業務補助。

#### 2. 役員状況 (2015年3月31日現在)

	氏名	常勤／ 非常勤	現職・所属	任期
理事長	小玉昌代	常勤	(特活)リボン・京都 理事長 (社)日本国際民間協力会 理事	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	中島茂代	常勤	(特活)リボン・京都 洋裁指導責任者	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	小野了代	非常勤	(社)日本国際民間協力会 理事長	2014年6月1日～2016年5月31日
理事	都留良子	非常勤		2014年6月1日～2016年5月31日
理事	渋谷みち子	非常勤		2014年6月1日～2016年5月31日
監事	北野與志朗	非常勤	公認会計士	2014年6月1日～2016年5月31日

#### 3. 職員状況 (2015年3月31日現在)

	有給専従職員	有給非専従職員 (インターン含む)	無給専従職員
国内	1名	2名	1名
海外	2名	12名	0名

海外：ラオス有給非専従現地職員：1名      ヨルダン有給非専従現地職員：1名

ルワンダ有給非専従現地職員：10名

#### 4. 総会および理事会

##### <総会>

###### 2014年度 通常総会

- 日時： 2014年5月24日（火）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 事務局
- 出席者： 35名（内21名は委任状出席）
- 審議事項： ① 2013年度 事業報告・会務報告 承認の件  
② 2012年度 決算書類 承認の件
- 報告事項： 今年度の活動予定

##### <理事会>

###### 2014年度 第1回理事会

- 日時： 2014年5月14日（水）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事5名、監事1名（内2名は書面表決）
- 審議事項： ① 2014年度 通常総会開催 承認の件  
② 2013年度 事業報告・会務報告 承認の件  
③ 2013年度 決算書類 承認の件  
④ 2014年度 任期満了に伴う役員選任の件
- 報告事項： 今後の活動予定

###### 2014年度 第2回理事会

- 日時： 2015年3月25日（水）
- 場所： 特定非営利活動法人リボン・京都 日本事務局
- 出席者： 理事5名
- 欠席者： 監事1名
- 審議事項： ① 2015年度 事業計画  
② 2015年度 予算案
- 協議事項： 2014年度 事業状況と決算見込み

#### 5. 会誌発行

「News! 甦 vol. 23」 発行：2014年7月1日

- 内容：
- 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ1（ルワンダ共和国）進捗状況
  - ルワンダ 特別授業
  - ヨルダン フォローアップ
  - ファッションイベント in NY
  - 祇園祭チャリティセール&事業報告会 開催のご案内
  - 高島屋京都店チャリティ展示即売会のご報告
  - 2013年度 活動計算書

「News! 甦 vol. 24」 発行：2014年12月1日

- 内容：
- 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ1（ルワンダ共和国）修了
  - 高度な洋裁技術習得によるライフ・エンパワーメント・プロジェクトフェーズ2（ルワンダ共和国）開始
  - 震災復興支援 in 京都
  - ルワンダ記念式典とルワンダ展示会のご報告
  - 祇園祭チャリティセール、高島屋京都店チャリティ展示即売会、ボストンチャリティセールのご報告
  - クリスマス・チャリティセール開催のご案内